のたろんフェア2019
実行委員のメンバー

うさぎあふれる

2月9日(土)
2月10日(日)

汐入駅から歩いて1分
横須賀市立市民活動サポートセンターで
横須賀最大の市民活動のお祭り「のたろんフェア」開催

のたろん新春号

100 以上の団体が参加します。

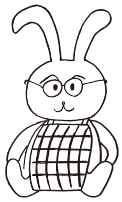
2019
2/9 土　2/10 日

のたろんフェアでは、
横須賀近隣
横須賀で活動している市民活動団体が、
日ごろの活動の報告や発表をしたり、
活動資金を集めるために、
フリーマーケットや、飲食販売をします。

その活動は専門的。
会って・なんでも・聞いてみて

例えばこんな活動 のたろんの10選

よこすか発達障害をもつ大人の会 レガート



発達障害をもつ大人や周りで支援する人が交流する会。大津コミュニティセンターを中心に活動。

つながりの場（当事者会）
レクリエーション、勉強会や講演会をおこなっています。

NPO 法人 神奈川フードバンク・プラス

地域で福祉活動をする団体・個人への食品支援、ネットワークづくりや学習会など。

食品を必要としている方、ご連絡ください。余っている食品がありましたら、ご寄付ください。

横須賀古地図くらぶ

横須賀の歴史の学習、史跡めぐりおもしろいですよ！

古地図を使って昔の横須賀の歴史を探ります。

よこすか栄養士薬膳健康づくり研究会

食物のもつ薬効を生かし、身近な食材で未病対策にもなり、そして日本の食文化を取り入れた日本型薬膳の研究、料理作成、試食、普及をしています。

おいしく食べて健康になる！
日本ならではの
薬膳の研究をしています。

ピースネットワーク横須賀 orizuru

のたろんフェアでは音楽を披露します！

年齢層問わず、折鶴を通じ平和教育の推進、音楽やパフォーマンスを通じ、施設や学校等への普及。みんなが折った折鶴を広島に届けています。

手作りオモチャの会

地域の子ども会から国際交流事業まで、各種イベントでオモチャ作りと昔遊びの伝承普及活動をしています。

身近なところにある材料を
使って、オモチャ作りと昔懐かしい遊びをしませんか？

横須賀市青年赤十字奉仕団

災害発生時は被災地の救護活動に参加、平時は地域と連携した防災訓練や救急法の普及につとめます。

とっさの事故や災害に強くなりましょう！のたろんフェアでは救護所を担当します。

一般社団法人 コスモス成年後見サポートセンター
神奈川県支部横須賀地区

誰もが笑顔ですごせる人生をおくれるように…
そのためのお手伝いをしています。

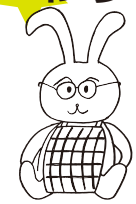
「成年後見制度ってなに？」「後見人にはだれがなってくれるの？」そんな疑問にお答えする相談会や後見人の推薦をしています。

原子力空母の横須賀母港問題を考える市民の会

年齢を問わずみんなで取り組んでいます。横須賀に原子炉を２つを乗せた航空母艦がいるということを知ってほしいです。

最新の状況を、記録映像などといっしょに紹介します。

わらいき



声を使った自己表現で
コミュニケーションしよう！

ボイスドラマ、朗読、ライブイベントの企画・運営・構成・編集・放送・製作。ワークショップも。
「笑って生きよう」～わ　ら　い　き～

ひと ～市民活動を支える人たち～

横須賀手話勉強会ひまわり会
三浦半島パソコンサポートネット　**木曽 利修**さん

理路整然とした話の中に、やさしさと懐かしさを感じる。ひまわり会の木曽さんにお話を伺った。

昭和 25 年、横浜生まれ。小学生の夏休みの終わり、クリーニング店だった自宅に米軍機が墜落したという経験を持つ。スポーツは苦手で、プラモデルを作ったりするのが好き、新聞委員をしたこともあった。中学の頃から、電気に興味を持ち工業高校の電子科に進学。アマチュア無線の電話級の免許を取る。「海の見える岸壁の上、一軒家の別荘、でっかいアンテナたてて優雅に無線ができたらいいな」と空想していた。

コンピュータのソフトウエアの専門学校で学び、電機メーカーに就職。工場制御や生産ラインの現場を動かすコンピュータの仕事をした。その間 30 歳で結婚。奥さまの実家に入り横須賀の汐入で暮らす。

40 歳過ぎの異動を機に、それまで残業残業で家と会社の往復に明け暮れていた生活に変化が起きた。時間に余裕ができ、ふと思った「一生を 24 時間に例えると、今はちょうど 12 時頃、人生を振り返る昼休みではないか」と。横須賀はお祭りが盛んで、地域の結び付きが強いと感じたが、幼なじみがおらず地域社会に溶け込めなかった。後半生、地域との結びつきも必要だよなと漠然と思っていた。偶然手に取った広報よこすかで、手話講習会の案内を見つけた。数年前から、職場には耳の聞こえない後輩がいて、手話に触れていたため応募した。

当時、テレビドラマがきっかけで手話ブーム、50 名の募集に 100 名以上の応募があったという。一年間の講習を終えると、市内の手話サークル一覧が配られ、その中にひまわり会があった。夜、学習会を開いている唯一の会だったので入会した。

ひまわり会は、150 人のメンバーを有し、神奈川県でも 2 番目に発足したと聞き、すごい会だと思った。

1 年が過ぎ、総会案内の往復ハガキが来て、連絡欄に「何かお手伝いできることがあったら…」と書いたら、役員の人から「お願いしますよ」と言われ、幹事を引き受けた。しばらくして、コピーできるホワイトボードが手に入らないかという話がでた。パソコンを障害のあるなしに関係なく便利な道具として使ってほしいとの思いから電気通信普及財団の補助金を申請。採用され、ホワイトボート、パソコンなどの機器を購入することができた。そんな折、会長が退任することになり、後任を引き受けることになった。以後、副会長などの役員をつづけて会を支えている。

また、同時期、障害者向けのパソコンボランティアの講習会を受けたのをきっかけに、三浦半島パソコンサポートネットにも参加し、そこでも副代表（会計）として活躍している。

「『人生は冥土までの暇つぶし』という言葉がある。会社生活が終わって、すごく時間がありますよ、と言われるが、そんなことはなくて会社時代の 20 年も定年後の 20 年も同じ時間。やることが無いから、退屈な時間がある。こうやって、やることがあればそんなにもてあます時間じゃないと思う」「夢は、世界一周をしたい。スエズ運河パナマ運河を船で通ってみたい」のだけれど、そんな時間がつくれればという。

手話通訳の仕事について聞いたら、「全然へたっぴなので私には無理」と話され「でもね、自分はそれで構わないと思っている。手話の上達を目指しているわけじゃなくて、聴覚障害者の人たちと普通に友達として接すればいいことではないか」

40 ～ 50 代の方に、市民活動に参加してもらいたいとの思いで、インタビューを受けていただきました。みなさんそれぞれ、人生の余暇の使い方を探していただければ嬉しいです。

（はこざき）

団体紹介

● 横須賀手話勉強会ひまわり会

聴覚障害者と健聴者が互いの理解を深め交流することをめざして活動しています。毎週木曜日横須賀市立総合福祉会館において入門、初級、中級の 3 クラスにわかれて手話の勉強会を行っています。

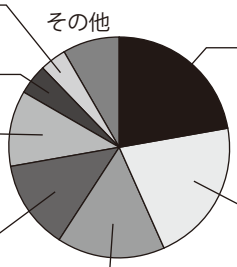
● 三浦半島パソコンサポートネット

三浦半島域内で、シニアと障害を持った方のパソコン操作を助ける活動をしています。
定期的に無料相談会などを開催しています。

のたろん TagCloud アンケート

サポセンを利用している人に聞きました。

おしえてください。サポセンのよいところ



アンケートの回答全部見られます♪

「だれでも自由に利用できる」の中には、「平等に開放してくれる」「思想、信条の自由が守られている」といった嬉しいご意見もありました。「設備がそろってる」では、特に「文房具がいつでも使える」など、文具が大人気でした。サポセンにあるこの文具は「のたろん文具」といって、みんなで寄付をし合ってそろえています。

ところで お正月の おせち料理でなにが好き？

1位 黒豆　雑煮　佃煮　好きな物ない

2位 数の子　栗きんとん　餅　ハム

3位 伊達巻　かまぼこ　煮しめ

山の話　登山教室

24年冬に、娘より職場の仲間で来年富士山に登りたい人が居ると話が有った。随行するにしても、本当の初心者が富士山に登るのは無理なので、25年1月から登山教室を毎月開催しましょうと提案。1月から主に丹沢方面だが始める。3人参加、松崎引率。2月経ヶ岳を計画したが、雪があるので鐘ガ岳（561m）に変更、参加7人、松崎引率。今後も参加者が増えるならば、サブリーダーをOB会に頼むことにした。3月参加6人、松崎・草野が来てくれた。登山教室と言っても完全に無料なので来てくれる人は完全なボランティアで全額自己負担。4月栗の木洞（908m）5月大山ケーブル、6月三の塔、7月大山北から登る。8月富士山に登って、目的は達成した。

毎月の教室に半分以上参加した人達より、中級教室の継続を希望される。10月座学より始める。この時通信費として一人五百円いただく。中級教室は奇数月の第一土曜日とする。11月大山三峰、松崎不参加（怪我）。1月高水三山、3月本仁田山、雪のため大山に変更、ケーブル利用、上部は雪あり。

ここから25年度となる。初級教室（通信費千円）を募集した。初級は毎月第3土曜日、丹沢。中級は、初級の合格者からなり、八ヶ岳などを目的とした。鎖場の通過・簡単な岩登りを含む。

26年度の初級は偶数月隔月とした。場所は変わらない。中級教室の目的は各人が、一人で計画して、調査・実施出来るようにと、地図読みを主に教えた。冬の赤岳に登る事も目的として、雪のない時期にまず登り滑落停止の訓練も行った。参加者は小屋利用だが、私はテント泊。この他、鷹取山岩登り訓練も実施した。登山教室を通じ、北アルプスを計画して実施できる人も育った。一番儲かったのは、さいか屋好日山荘と思われる。

（松崎健一）

********** サポセンtopics トピックス

サポセンの 授乳スペース

サポセンに授乳室ができました。場所は、子どもたちが遊べるキッズコーナーの片隅です。

「授乳できるところはありますか？」サポセンでは「車椅子用のトイレは？」と同じくらい多く聞かれることのひとつ。だからずーっと欲しかった。今回の授乳室は持ち運び用の更衣室を利用したものですが、なかなかの使い心地です。

のたろんがお送りする「のたろんジャーナル」

◆サポセン発信情報
◆E メール info@yokosuka-supportcenter.jp
◆サポートセンターのホームページ
「のたろん Web」は“のたろん”で検索♪

のたろんジャーナル

のたろん　検索

情報誌「のたろん」冬号（通巻 77 号）　2019 年 1 月 1 日
発行 横須賀市立市民活動サポートセンター
編集 指定管理者 特定非営利活動法人 YMC A コミュニティサポート
横須賀市本町 3-27（京浜急行汐入駅徒歩 1 分）
TEL ０４６－８２８－３１３０
FAX ０４６－８２８－３１３２
市民活動サポートセンターは、市民活動、ボランティア活動の打合せや作業、情報収集を行なう施設です。ご利用の際は受付にて利用票のご記入をお願いします。

編集ボランティア／はこざき・みずたに・まつざき・おぐし
スタッフ／ぬまさき・のぎむら